

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月29日

【評価実施概要】

事業所番号	3870600297		
法人名	有限会社 エンジェル・コール		
事業所名	グループホーム フルーツの家		
所在地	愛媛県西条市朔日市807番地 (電話) 0897-52-0793		
管理者	浜瀬 政子 野中 善貴		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年12月10日	評価確定日	平成20年12月29日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、利用者から感謝の言葉をかけてもらうことで、「感謝の言葉を伝えることの大切さを学んだ」と話しておられた。
 畑の草引きをされたり、お花を生けてくださる方、又、おしぼりや洗濯ものをたたんでくださる方もいる。事業所では「夏祭り大会」やお花見等、季節に合わせた行事の楽しみごとも行われている。クリスマス会では、職員が「水戸黄門」の劇をすることになっていた。「アイデア班」があり、利用者の楽しみ事等、アイデアを出して企画されている。
 毎日入浴される方や眠る前に入浴される方、熱めの湯加減を希望される方もいる。又、足湯を楽しみに温泉に出かけたり、事業所でも足浴を支援されている。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・事業所ではこの一年、保育園の運動会に参加されたり、市の広報誌等を見て、少人数で出かける等、個別の支援に力を入れて取り組まれた。前回の評価結果を受けて、ユニットの出入り口の開閉等、利用者の寒暖へ配慮し、居間のテーブルの位置等、工夫しておられた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価は、項目を3項目づつ毎日、職員で話し合い、この一年間を振り返りながら作成された。管理者がユニットごとにまとめられており、職員個々のケアの捉え方等を把握された。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議への参加者が以前より増えてきている。「夏祭り大会」に参加いただき、アンケートを取られたり、事業所の取り組みについて意見や要望を出していただき、反映に努めておられる。又、「ミニ介護講座」を行い、認知症やケアについての知識や理解等を深めておられる。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・1・2・3ユニット、4・5ユニットで家族会を開催し、事業所の日々の取り組みについてご意見を伺ったり、職員の紹介等もされている。又、ご家族一人ひとりと個別に話し合うような機会も設けておられる。ご家族からいただく意見は、話し合いを行い改善へ向け取り組めるよう努めておられる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・併設デイサービスから情報を得て、菊を育てておられるお宅に菊見に出かけられた。その後、お礼に何う等されている。近隣保育園児がお散歩の途中、立ち寄られることもある。

【情報提供票より】

(平成20年11月20日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成12年4月5日		
ユニット数	5ユニット	利用定員数計	41人
職員数	36人	常勤	29人, 非常勤 7人, 常勤換算 32.6人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	10,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 100円
	または1日当たり 1,000円		
(3)利用者の概要 (平成20年11月20日現在)			
利用者人数	41名	男性 5名	女性 36名
要介護1	1名	要介護2	7名
要介護3	12名	要介護4	13名
要介護5	8名	要支援2	0名
年齢	平均 87.96歳	最低 68歳	最高 100歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームフルーツの家

(ユニット名) 1ユニット

記入者(管理者)

氏名 浜瀬 政子

評価完了日

平成 20 年 11 月 17 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 理念は職員が作成している。利用者がその人らしく生活ができ、和やかに笑顔あふれる日々を過ごせるようつくりあげている。		来年度理念の見直しをしていく。
			(外部評価) 事業所では、「その人がその人らしく生活」することを支える理念を、職員で話し合い作成されている。		さらに、貴事業所が「地域密着型サービス事業所」として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについて、話し合う機会にされてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 朝の申し送りや勉強会にも理念に必ず触れ、確認しあうようにしている。		
			(外部評価) 事業所の理念を共用空間や会議室、職員室に掲示されている。さらに、年間目標やユニット理念等も作成し、理念を日々実践できるよう取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) ご家族には運営推進会議などに参加してもらい、地域の人に認知症を理解してもらえるよう取り組んでいる。地域住民(保育園、スーパー、市の職員)には多様な機会に折に触れ繰り返し伝えていく。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 民家は少ないが、外庭掃除の時や散歩へ出かけたり、外で食事をする時は、挨拶をするよう徹底している。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会、老人会には参加していないが、ホームの夏祭り大会には地域の方も参加している。また、近隣の保育園の運動会にも参加している。 (外部評価) 併設デイサービスから情報を得て、菊を育てておられるお宅に菊見に出かけられた。その後、お礼に何う等されている。近隣保育園児がお散歩の途中、立ち寄られることもある。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 中学生の体験学習の受け入れを行っている。各自治会などへキャラバンメイトの活動を実施		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 勉強会等を通してサービス評価の意義や目的を全職員に伝え全員で取り組むようにしている。またサービスの質の向上に努めている。 (外部評価) 自己評価は、項目を3項目ずつ毎日、職員で話し合い、この一年間を振り返りながら作成された。管理者がユニットごとにまとめられており、職員個々のケアの捉え方等を把握された。事業所ではこの一年、保育園の運動会に参加されたり、市の広報誌等を見て、少人数で出かける等、個別の支援に力を入れて取り組まれた。前回の評価結果を受けて、ユニットの出入り口の開閉等、利用者の寒暖へ配慮し、居間のテーブルの位置等、工夫しておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、地域のいろいろな立場の人に参加してもらい外部評価のとりくみや結果など聞いて話し合い、サービスの向上につなげられるよう努力している。		
			(外部評価)		
			会議への参加者が以前より増えてきている。「夏祭り大会」に参加いただき、アンケートを取られたり、事業所の取り組みについて意見や要望を出していただき、反映に努めておられる。又、「ミニ介護講座」を行い、認知症やケアについての知識や理解等を深めておられる。		今後、会議には、他グループホームの方等も参加する予定となっていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			利用者の事故（転倒、入院等）報告し指導や助言を受けたり、サービスの質の向上の為に関係作りを積極的に行っている。		
			(外部評価)		
			法人代表者は、地域の認知症ケア向上に熱意を持って取り組まれており、市や県等が行う研修の講師等として協力をされている。又、事業所のケアや運営等、相談しながら取り組まれている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			相談員さんが毎月来訪してくれている。人権擁護委員の来訪もある。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			勉強会やミーティングを通し、職員の理解浸透を深めるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 時間をかけて利用者や家族が納得いくまで話し合っている。なんでも質問できる雰囲気をつくり、同意をいただいている。		不安や疑問が少しでも軽減できるように、十分な話し合いや説明を行っていきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 相談員が定期的に来てくれ、利用者の相談にのって頂いている。利用者の意見や苦情を聞いて頂き、運営に反映させている。		意見箱の設置を検討したい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 利用者の暮らしぶりは、写真を添えた手紙を定期的に送っている。また、健康状態などは面会時や電話にて報告もしている。		家族が知りたい内容を伝えていく。
			(外部評価) ユニットの入り口に掲示板を設け、季節感のある装飾で、行事や外出時の様子の写真がコメント入りで掲示されていた。又、ご家族へ届ける「お便り」には、ご本人の事業所での様子や行事の報告、今後の予定を載せ、ともに写真も添えておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会を設け家族同士で話し合う時間をとり、意見や苦情などは報告書で明確にし、ミーティングや勉強会で話し合い改善している。アンケートの実施もしている。		
			(外部評価) 1・2・3ユニット、4・5ユニットで家族会を開催し、事業所の日々の取り組みについてご意見を伺ったり、職員の紹介等もされている。又、ご家族一人ひとりと個別に話し合うような機会も設けておられる。ご家族からいただく意見は、話し合いを行い改善へ向け取り組めるよう努めておられる。		さらに、遠くにお住まいのご家族や足遠くなっているようなご家族、「事業所にお任せします」と言われるようなご家族からも、具体的にご意見等をいただけるよう、働きかけを続けていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 1回/月の部署会やケアカンファレンスでは全員参加している。意見を聞く機会を持ったり、いいやすい関係でいられるよう普段から心がけている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員の急病や急な休みの時にも対応できるよう人員を確保している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 馴染みの職員が継続的に対応できるよう職員の異動も最小限に抑えている。各ユニットの職員を固定化し顔馴染みの職員によるケアを心がけている。 (外部評価) この一年間、職員の離職は少なく、利用者や職員は馴染みの関係となっている。新しい職員には、管理者が不安なことはないか聞かれたり、サポートをされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所内では年間計画の中で研修を位置づけている。新人、1年、3年、5年の段階に応じた研修を行っている。事業所外での研修は、なるべく多くの職員が交替で参加できるようにしている。 (外部評価) 「研修班」を設け、内部研修の充実を図っておられる。県GH協議会主催の職員研修等、外部研修にも積極的に参加されており、職員が勉強できる機会を多く作り、個々のレベルアップを図っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			定期的に社外研修や勉強会で交流を持っている。また相互研修などで意見交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			法人代表者は、県GH協議会の研修講師もされており、他事業所からの実習等も受け入れておられる。又、職員は、相互研修で他事業所の取り組みを知り、「ケアや取り組みについて学んだり考える機会となった」と話しておられた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			ストレスや悩みを把握するよう努めている。また利用者や離れ、レクレーションの場として(レクバレー、バトミントン)を通し気軽に楽しめる場所作りをしている。		今後も継続して行こうと思う。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の資格取得に向けた支援を行い、取得後は職場で生かせるよう環境作りに努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人の思いや不安を受け止め、安心してもらえるようゆっくり話を聞き、状況を把握できるよう努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族が求めていること等が理解できるようよく話しを聞き出し、受け止める努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族にとって今何が必要かを見極め、できる限りの対応につとめている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 通所介護や訪問介護も併設しており、ホームや利用者と馴染めるような環境を整えている。慣れるまでは家族と連絡をとってもらったり、訪問してもらえよう願っている。 (外部評価) 法人代表者は、入居前にご本人を訪ね、ゆっくりお話をされている。帰りたといわれる方には、ご自宅近くまでドライブをされることもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の喜怒哀楽に関心を寄せながら一緒に生活し、本人から学べることを日常から作っていく努力をしていき、支え合う関係が築けるよう努力をしているが、十分ではない。 (外部評価) 職員は、利用者から感謝の言葉をかけてもらうことで、「感謝の言葉を伝えることの大切さを学んだ」と話しておられた。		本人の思いや根本にある苦しみ、不安、喜びなどを知らることに努めていく。 さらに、生活の中で、職員が、利用者個々から教えてもらったり、学ぶような機会を増やしていかれることが期待される。利用者の意欲・自信につながるような支援について、職員のかかわり方の工夫を重ねていかれてほしい。又、利用者個々との関係作りに努めていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 暮らしぶりや状態の変化は随時報告し、それぞれの家族の思いを理解して、ホーム内や行事なども出来るだけ利用者と一緒に時間を過ごしていただいている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族と本人の関係を大切にし、行事に家族を誘ったりしながらよりよい関係の継続に努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの友人や知人の面会があったり昔から利用している美容院へ定期的に行っている人もいるが、十分でない。		利用者一人ひとりの馴染みの場所を知る。また、気軽に出かけられるよう話しあっていく。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 個別に話を聴いたり、相談に乗ったりしている。利用者同士の関係がうまくいくよう職員が調整し、見守っている。		居室で過ごされることの多い方への、関わりを増やしていくように努める。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院している人には見舞いに行き、継続的な付き合いができるよう心掛けている。家族からの相談にも乗っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々のかかわりの中で、声かけを行い、本人の意向をできるだけ実現していくよう努めている。意思の疎通が困難な方は、家族さんや職員などから情報収集をし、本人が快適に過ごせるよう努めているが十分でない。		本人さんの気持ちをもっと理解し、今できることを見つけて継続する。
			(外部評価) フェースシートに利用者の情報を記しておられる。ご家族に協力いただき、利用者ご本人のこれまでのことを書いていただいた。		職員は、利用者ともっと深くかかわっていきたく考えておられた。又、法人代表者は、「ご本人の今の姿だけでなく、今までのことを知ることが大切」と話しておられた。さらに、利用者やご家族から得た情報をケアにつなげ、「希望が持てる生活」を支援していかれてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 意思の疎通ができる方には普段のコミュニケーションから昔の生活歴など聞き取るようにしている。他にご家族の面会時にどんな生活をしていたかなど聞いている。		職員が情報を同じように把握できていないので、今以上に家族さんとの会話を大切にします。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 排泄記録票や入居者情報など一人ひとりの生活リズムを把握し、行動や表情などから、心身状態やできることなどを見つけ、現状の把握につとめている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 日頃のかかわりの中で、家族や本人の意向を聞き、6か月に1回見直しをしているが、十分把握できていないこともある。		本人や家族さんを交えての話し合いを積極的に行う。
			(外部評価) ご本人の望むことを大切に、介護計画を作成されており、ご家族の来訪時等に相談されたり、意見を聞き、反映できるよう努めておられる。介護計画書を日々のケア記録に綴じて、職員が日々確認できるようにされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			6か月に1回は見直している。状態が変化した場合、随時にはできていないことがある。		状態に合わせた介護計画の作成を行っていきいたい。
			(外部評価)		
			現在、介護計画は、3か月ごとに評価を行い、6ヶ月ごとの見直しとなっている。退院時等には計画の見直しをされている。		さらに、介護計画の細やかな見直しから、利用者の状態に合わせた支援が行えるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の様子はカルテ等に記入しているが、気づきや工夫は記入されていないことがある。情報の共有は不十分なこともある。		日々の様子が介護計画に反映されるよう職員間で情報の共有をしていきいたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人、家族の状況に応じて、通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、個人の満足感を高めるよう努力している。また、リハビリ室を利用し、ほかのユニットの人たちとも馴染みの関係ができています。家族からはリハビリの声が多いので毎日の生活にリハビリを取り入れるようにしている。		
			(外部評価)		
			実習生の受け入れをされている。事業所内にリハビリ室があり、健康器具やホットパック等が利用できるようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員や相談員もよく来てくれている。防火訓練も定期的に行い、消防署の方にも協力してもらっている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 事業所内のケアマネジャーとの接点が多い為、地域のサービス事業所と話し合う機会はあまりない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターの職員の方とは周辺情報や支援に関する情報交換ができる関係を築いており協力してもらっている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 馴染みのかかりつけ医師による往診を受けている。また、必要な時や希望があるときも随時受診している。 (外部評価) 利用者やご家族は、隣接に病院があることで、いざという時の安心感を持っておられる。2週間に1回の往診や受診時には、職員や看護師が同行する等、医療機関と連絡を密にされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 連携病院の指示や助言を受け、利用者の治療に応じて相談している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 常勤の看護職があり、日頃の健康管理や医療面での相談、対応を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時は職員が見舞うようにしている。家族とも再々情報交換しながら回復状況を見て、早期退院の支援をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期を迎えるにあたり早い段階から家族、医師との話し合いを持っている。終末期に感しての指針を定めている(家族、主治医の協力がある。医療行為は行わない)また、職員間の意識の確認も行っている。 (外部評価) これまで看取り支援を行った事例はないようだが、事業所は、看取りの指針を具体的に定め、支援を行う体制を作っておられる。「緊急時の対応」等、職員は、勉強会を行っておられる。		以前から入居している人に対し、早い段階から終末期にかけて話し合いをしている人もいる
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 事業所のできること、できないことを確認し統一している。家族と話し合い医師との連携をとり、安心して納得した最期がむかえられるよう支援している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他に移り住むことになった場合、情報交換を行い、暮らしやケアの継続がたもたれるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) プライバシーについてや言葉かけ等の対応について勉強会やミーティングなどで話し合っている。</p>		<p>プライバシーについてや言葉かけ等の対応について今後の勉強会やミーティング等で徹底していくように話し合う。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>朝の整容や、入浴をしない日にも下着を交換する等、支援されている。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 言葉だけでなく、態度や表情からも感じ取るよう努力している。また、声かけもわかりやすく言うように心がけているが、自己決定できる場面が少ないように思う。</p>		<p>自己決定できるような場面を作っていきたい。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 利用者に合わせ、できる限り本人の気持ちを尊重して、一人ひとりの状態や思いに配慮できるよう心がけているが、業務が優先になることもある。</p>		<p>利用者自身が自分で決める場面を作っていく。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>ご自宅でおられた時と同じように、朝夕に散歩される方がおられる。又、体調によっては、居室でお食事をされる方もいた。</p>					
<p>職員は、自己評価に取り組み、「『利用者にとっていいこと』と決めつけ、ケアを行っていることもあるのではないかと振り返られた。ご本人に聞いたたり、探りながら生活を支援していきたいと話しておられた。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 基本的に洋服は利用者を選んでもらっている。身だしなみを整えられるよう手助けしている。一部の人しか美容院にいけていない。		身だしなみやおしゃれを楽しんでもらえるように取り組んでいきたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備や片付けはほとんど職員が行っている。イベントの時は、一緒にできる範囲で準備をしてもらっている。		利用者がやってみたいという前向きな意思や気持ちを引き出すような場面作りや声かけをしていきたい。
			(外部評価) 食事担当の職員が、事業所全体の食事作りをされている。利用者の中には下膳をされている方もおられた。時に外食をされることもある。		さらに、汁物等、あたたかいものをあたたかい状態で食べられるような工夫や、食事時の職員のかかわり方等で、利用者一人ひとりが食事をさらに楽しめるよう、工夫できることはないか話し合う機会にされてほしい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在お酒やたばこを望まれる方はいない。飲み物、おやつは、本人の希望にそって楽しんでもらっている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄のペースなど把握し、トイレで排泄できるよう支援している。おむつを使用している利用者にも日中はトイレで排泄してもらえよう誘導を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			希望に合わせて入浴できている人もいるが、昼食後に入ることが多い。入浴拒否の人には気長く進めている。		入浴を拒む人に対して、言葉かけや対応の工夫をしていきたい。
			(外部評価)		
			毎日入浴される方や眠る前に入浴される方、熱めの湯加減を希望される方もいる。又、足湯を楽しみに温泉に出かけたり、事業所でも足浴を支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			身体状況に合わせ、居室で休んだり、ソファなどでくつろげる場を作っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯や掃除、庭の草引き、食事の下準備など出来ることはしてもらっている。気晴らしに散歩、買い物など支援している。		張り合いや喜びのあることを見つけて楽しく過してもらえよう支援していきたい。
			(外部評価)		
			畑の草引きをされたり、お花を生けてくださる方、又、おしぼりや洗濯ものをたたんでくださる方もいる。事業所では「夏祭り大会」やお花見等、季節に合わせた行事の楽しみごとも行われている。クリスマス会では、職員が「水戸黄門」の劇をすることになった。「アイデア班」があり、利用者の楽しみ事等アイデアを出して企画されている。		管理者は、利用者個々のこれまでのことをさらに知り、支援につなげていきたいと話しておられた。利用者個々の懐かしい場所を訪ねることも検討されていた。職員は、食事やおやつ作り等、身近なことから利用者と共に生活を楽しむ工夫をすすめたいと話しておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			お金の管理ができる人は、買い物へ行きお金が使えるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日は、散歩、ドライブ、買い物へ出かけている。季節を肌で感じてもらえるよう支援している。		外出は気分転換や季節を肌で感じてもらえるので、これまで通り、外に出かけることを支援していきたい。
			(外部評価)		
			利用者の希望でうどんを食べに出かけたり、目の不自由な方も季節を感じに、紅葉狩り等に出かけておられる。毎日散歩をされる方もいる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族と一緒に美容室へ行かれたり、また、自宅に帰り、家族と一緒に過ごしたりしている方もいるが、十分ではない。		今後、家族さんも一緒に行けるよう呼びかけたり、協力をしていただけるよう努力したい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			いつでも電話が使用できるようになっており、本人自ら使われる人もいる。また、希望のある人は年賀状や手紙を書いてもらっている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時は自然な形で歓迎しゆっくり過ごせる雰囲気作りを心がけている。訪問時間は仕事帰りやご家族の都合のいい時間帯にいつでも訪ねて来ていただけるよう配慮をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束に関する勉強会を実地し、職員間で認識している。やむをえず身体拘束をする場合は家族の同意を得るようにし、なるべく時間を少なめにしている。		定期的な勉強会を継続し、職員の意識を高める。言葉遣いにも配慮する。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵をかけていない。居室も鍵の使用はせず、見守りやさりげない声かけをしている。 (外部評価) 玄関は鍵をかけず、職員が見守りされている。利用者が散歩される際には職員が同行されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中はホールにいる職員が見守っている。夜間は1時間毎の巡回にて安全を確認している。居室にいる利用者には声をかけたりして状況を把握するよう努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 洗剤等は目につかないクローゼット内に収納している。針やはさみは、利用者の状況に応じて管理している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ヒヤリハットを記録し、職員の共有認識を図っている。事故発生時、職員は、状況を正確に伝えるよう徹底している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時の対応は、勉強会や研修で学び、マニュアルも作成している。また、消防署の協力も得て、救急の対応の指導もしてもらっている。		全ての職員が対応できるよう定期的に行なっていきたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 事業所では、月1回の抜き打ちで、避難訓練を行っている。消防署の協力も得て、避難の仕方や、消火器の使い方なども訓練をしている。 (外部評価) 抜き打ちの避難訓練を重ね、職員の意識向上につながっている。管理者は、「職員の行動や対応が迅速にできるようになった」と話しておられた。事業所は、3つの棟に別れており、いざという時には、協力し合えるよう話し合われている。		さらに、管理者は、避難訓練の際、不在の職員にも周知徹底していきたいと話しておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクについてケース検討会、サービス担当者会議で話し合いをしている。また、家族にも説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体調の変化や異変に気がいたら報告しあい、記録に残しバイタルチェックや表情の変化を見て受診している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) カルテに薬の説明書をはさみ、職員が把握できるようにしている。症状に変化のある場合は看護師に報告し主治医に相談している。飲み忘れや誤嚥を防ぐための管理をしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 出来る限り、自然排便を促すための工夫をしている。水分補給や繊維の多い献立に気をつけている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 歯磨きの声かけを行い、一人ひとり応じた介助を行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が栄養バランスのとれた献立をしている。おやつを含め、一日全体での食事量、水分量をチェックし記録している。むせこみや飲み込みが悪くなったりしている人には、食べるタイミングやトロミをつけたり状況に合わせている。		
			(外部評価) 利用者の状態に応じて、お粥にされたり、食材を刻んだり、ミキサー食等、飲み込みやすいよう調理されていた。		さらに、食事を摂りにくい方については、ご家族とも相談しながら食事内容等、工夫を重ねていかれてほしい。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 利用者さんは家族さんに同意をいただき、インフルエンザの予防接種を受けている。職員も全員受け、予防に努めている。面会時等も手洗いをしてもらうように声かけ、また、職員も手洗いうがいの励行を心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>作業前に調理者の衛生面をチェックしている。まな板と包丁は食材別に使い分けをしている。まな板、ふきん、調理器具のハイター消毒、煮沸消毒を毎日行っている。食材は旬の物や地元産の鮮度の高い物を選び、在庫はあまり置かないようにし、週に一度在庫整理している。</p>		
<p>2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホームの表札も大きくわかりやすくしている。玄関には季節の花をいけたり、玄関周囲は草木や花などもあり、季節感が味わえるよう工夫している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>戸の開閉や職員の声トーンや、大きさは気をつけているが十分ではない。日差しは白のレースカーテンを使用し照明はやや落としている。台所から食事の音やにおいがあり、和やかな雰囲気心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>早めからクリスマスの気分を味わってほしいという思いから、事業所の各所にクリスマスの飾りがされていた。畳の間のホットカーペットで食事をされたり、くつろいでおられる方もうかがえた。</p>		<p>職員の会話のトーンは日常的に注意を払うよう努めていきたい。</p> <p>居心地の良い環境作りという点から、臭いや雰囲気作り等についても点検する機会とされてはどうか。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホールにソファを置き、仲の良い利用者同士でくつろげるペースを作っている。部屋は個室になっている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自宅で使っていたものを持ってきている人は少ない。使い慣れた馴染みの物を(椅子、タンス、ベット)傍に置いてある人もいます。		
			(外部評価)		
			テレビやタンスが備え付けられている。カレンダーや写真を貼っておられる居室がうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			冷暖房に頼らず適宜換気を行っている。温度計、湿度計を設置し温度管理を行なっている。トイレ掃除はハイタ 消毒で清潔を保っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下や洗面所、トイレ等必要に応じた所に手すりを設置している。流し台も低く設置している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			整理整頓を心がけている。トイレや浴室には表示もあり各居室には果物の絵を貼り目印になるようにしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			菜園や花壇があり、草引きや野菜の収穫等で楽しんでもらっている。外庭にはベンチ、縁台がある。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんど掴んでいない	利用者の思いや意向について関心を払い、把握しようとしているが十分でない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 2 数日に 1 回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	時どき、テーブルを囲み食事をしたりお茶を飲みながらゆっくり会話をする時間を摂れるよう努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	基本的な1日の流れを持っているが、無理強いはしないようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	笑顔で明るい表情で接して、安心して穏やかな生活が出来るよう支援している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	車や車椅子等を利用し、散歩やドライブにでかけていることもあるが十分ではない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ② 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	2週間に1度の往診や受診の支援もしている。安全面では十分でない。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② 2 利用者の 2/3 くらいが 3 利用者の 1/3 くらいが 4 ほとんどいない	すべての希望に対応は難しいが利用者さんのペースに合わせ支援しようとしているが十分ではない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 2 家族の 2/3 くらいと 3 家族の 1/3 くらいと 4 ほとんどできていない	面会時は家族さんと話す時間をとり利用者さんの最近の様子や変わったことを報告したり、要望を聞くようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	利用者の家族や友人はよく来てくれる。たまに保育園児たちも来てくれている。地域の方が来てくれることは少ない。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) 1 大いに増えている 2 ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	民生委員や相談員も定期的に来てくれ、近隣の方と挨拶を交したりすることが増えてきたと思う。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) 1 ほぼ全ての職員が 2 ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者とのかかわりで一緒になって笑う姿がみられ、一緒に生活を楽しんでいこうとしてきている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりに合った対応を心がけ要望や思いをくみとりそれに答えられるよう努めているが十分ではない。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時家族から感謝の言葉をかけてくれるが、十分でない為、面会時はできるだけ要望や意見を聞くようにしていきたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・「和やかで、笑顔あふれる生活づくり」を理念にあげ、利用者の思いを第一に考え安心して穏やかに過ごせるよう支援しています。
- ・職員は笑顔を大切に、優しい声掛けや対応を心がけています。
- ・毎年盆踊り大会を開催し、地域の方にも参加してもらっています。本年度より、家族や地域の意見を参考に夏祭り大会に変更しました。
- ・掲示板を使用し、利用者さんの写真や予定を貼ってわかりやすくしています。
- ・誕生日のプレゼントは手作りを心がけています。月別に誕生日会を開きお祝いしています。
- ・年2回の防火訓練(消防署員指導)と、毎月1回抜き打ちで避難訓練を行っています。
- ・毎月1回、勉強会を行ったり、勤続年数に応じて研修をおこない、サービスの質を向上するための機会をもっています。
- ・ホームは2階建て静かな地域にあり、庭に畑や花壇をつくり、手入れや収穫を手伝ってもらい、楽しみの一つになればと努力しています。また、ホーム内にも季節の草花をかざり五感への働きかけになるよう工夫しています。
- ・リハビリ室も利用する人が増え、楽しみにしている人が増えてきている。また、通所介護の利用者とも接する機会が増えています。